

第32回 通常総会議案

令和4年5月19日



一般社団法人ダム工学会

— 目 次 —

議案 1 令和 3 年度事業報告	1
議案 2 令和 3 年度収支決算報告	2 8
議案 3 令和 3 年度会計監査報告	3 2
議案 4 理事選任 (案)	3 3
議案 5 監事選任 (案)	3 4
報告 1 令和 4 年度事業計画	3 5
報告 2 令和 4 年度収支予算	3 8
報告 3 評議委員の紹介	4 0
報告 4 令和 3 年度ダム工学会賞受賞者	4 1

令和3年度 事 業 報 告

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

令和3年度は、新型コロナウィルス感染症拡大防止の観点から、事業計画について必要な見直しを行いつつ、会員各位の協力のもとに、広報活動、学術講演会、研究発表会、講習会、各地区現場見学会、ダムなんでも相談室、with Dam★Night 2021、ダム工学会賞の選定と表彰等について、WEB会議システムを活用した開催、延期・中止などの対応・措置を講じた。また、一般の方がダムに関する情報を容易に得られるようダム工学会ホームページを運用した。

調査研究委員会では、7つの研究部会の下、研究活動を行った。交流研究事業3テーマを継続実施した。近年、大規模洪水が頻発する中、ダムの効果を即時的かつ効果的に情報発信する、並びに事前放流の洪水調節効果をさらに高める方策に関する研究について中間報告を行った。また、学会誌「ダム工学」では、“若手技術者の声”や“外から観たダムの魅力”コーナーの内容を充実させ、若者をはじめ多くの方々がダムへの関心を高める取り組みを行った。

会員数は、令和3年度末現在、正会員・シニア会員は741名、学生会員は71名、賛助会員は51社となった。令和2年度末に比べて、正会員・シニア会員は51名の減少、学生会員は24名の減少、賛助会員は同数となっている。

各事業の実施については、各委員会、研究部会により安全で適切に行われた。また、会員各位の積極的な活動に支えられた。

1. 委員会等活動報告

(1) 通常総会

令和3年5月に通常総会（WEB開催）を開催し、令和2年度事業報告及び収支決算、理事選任について承認を得るとともに、令和3年度事業計画及び収支予算について報告を行った。

- 第31回 通常総会（WEB開催）
開催日：令和3年5月20日
場所：東京カルチャーカルチャー（渋谷区）
委任者数：451名
議題：令和2年度事業報告及び収支決算、会計監査報告
理事選任、監事選任
報告：令和3年度事業計画及び収支予算

(2) 理事会

以下の通り理事会を開催した。

- 第81回 理事会
開催日：令和3年4月27日
場所：(一財)ダム技術センター AB会議室（対面・WEB併用開催）
議題：第31回通常総会議案について
会員状況
ダム工学会の当面の主な予定
第31回通常総会 議事次第（案）
第31回通常総会及び特別講演会について（第2報案）

- 第82回 理事会
 - 開催日：令和3年5月
 - 会議形式：メール審議
 - 議題：会長・副会長の選出について
顧問の選出について
ダム工学会表彰委員会委員選出について
ダム工学会選考委員会委員選出について
理事の委員会委員委嘱について

- 第83回 理事会
 - 開催日：令和4年3月17日
 - 場所：(一財)ダム技術センター AB会議室 (対面・WEB併用開催)
 - 議題：令和4年度事業計画 (案) について
令和4年度収支予算 (案) について
 - 報告：令和3年度事業執行状況について
会員数の推移
ダム工学会通常総会までの主な予定

(3) 評議委員会

以下の通り評議委員会を開催した。

- 第42回 評議委員会
 - 開催日：令和3年4月27日
 - 場所：(一財)ダム技術センター AB会議室 (対面・WEB併用開催)
 - 議題：令和3年度 理事推薦 (案) について
令和3年度 監事推薦 (案) について
令和3年度 評議委員 (案) について
第31回通常総会議案 (案) について
ダム工学会の当面の主な予定
第31回通常総会 議事次第 (案)
第31回通常総会及び特別講演会について (第2報案)

(4) 委員会等活動

事業活動を推進するため、企画運営委員会及び各小委員会、編集委員会、調査研究委員会、ダム工学会賞の関係委員会を以下の通り開催した。

1) 企画運営委員会

- 第90回 企画運営委員会
 - 開催日：令和3年4月13日
 - 場所：(一財)ダム技術センター AB会議室 (対面・WEB併用開催)
 - 議題：第31回通常総会議案 (案) について
ダム工学会の当面の主な予定
第31回通常総会 議事次第 (案)
第31回通常総会及び特別講演会について (第2報案)

- 第91回 企画運営委員会
 - 開催日：令和4年2月16日
 - 場所：(一財)ダム技術センター AB会議室 (対面・WEB併用開催)
 - 議題：令和3年度活動報告・令和4年度事業計画 (案) について
令和3年度事業執行状況について
令和4年度収支予算 (案) について
ダム工学会通常総会までの主な予定

○ 各小委員会の活動内容

① 総務小委員会

通常総会、理事会、評議委員会及び企画運営委員会の運営に関する企画・立案・実施、会員情報の管理、学会会計（会費の徴収を含む）の報告を行った。

② 学術研究発表会小委員会

特別講演会及び研究発表会の運営に関する企画・立案・実施を行った。

③ 講習会小委員会

講習会の運営に関する企画・立案・実施を行った。

④ 現地見学会小委員会

現地見学会開催に関する企画・立案等を行った。

⑤ 広報小委員会

学会及び学会行事の広報に関する企画・立案・実施を行った。また、ホームページの更新、メルマガ配信サービスにより情報提供を行った。

⑥ 活性化推進小委員会

ダム工学会の活性化推進方策の検討や、with Dam★Night 2021、各地区活動・ダムなんでも相談室・若手の会の運営に関する企画・立案・実施を行った。

2) 編集委員会

「ダム工学」発行のため、編集委員会を計4回開催した。

○ 第126回 編集委員会

開催日： 令和3年4月15日

場所： (一財)ダム技術センター AB会議室（対面・WEB併用開催）
議題： 学術部門の掲載予定について
一般部門の掲載予定について

○ 第127回 編集委員会

開催日： 令和3年7月15日

場所： (一財)ダム技術センター AB会議室（対面・WEB併用開催）
議題： 学術部門の掲載予定について
一般部門の掲載予定について
英論文投稿ガイドライン各種資料について

○ 第128回 編集委員会

開催日： 令和3年10月13日

場所： (一財)ダム技術センター AB会議室（対面・WEB併用開催）
議題： 学術部門の掲載予定について
一般部門の掲載予定について
英論文投稿ガイドライン各種資料について
一般部門（技術系分野）の投稿原稿について

○ 第129回 編集委員会

開催日： 令和4年1月8日

場所： (一財)ダム技術センター AB会議室（対面・WEB併用開催）
議題： 学術部門の掲載予定について
一般部門の掲載予定について
英論文投稿ガイドライン各種資料について

3) 調査研究委員会

- 第1回 調査研究委員会
開催日：令和3年6月18日
場所：(一財)ダム技術センター CD会議室（対面・WEB併用開催）
議題：事業報告内容の確認
(コンクリートダム、フィルダム、地質・基礎、維持管理、施工、ダム技術史、ダム貯水池課題研究部会)
交流研究事業の状況報告

- 第2回 調査研究委員会
開催日：令和3年12月21日
場所：(一財)ダム技術センター AB会議室（対面・WEB併用開催）
議題：事業報告内容の確認
(コンクリートダム、フィルダム、地質基礎、維持管理、施工、ダム技術史、ダム貯水池課題研究部会)
交流研究事業の状況報告、理事会等への部会報告の依頼について

4) ダム工学会賞の関係委員会等

- 令和2年度 ダム工学会賞表彰式
令和2年度 ダム工学会賞表彰式は、新型コロナウィルス感染症拡大防止のため、5月開催を延期した後、中止した。表彰状等は、受賞者へ郵送した。

- 令和3年度 技術開発賞公開審査会
開催日：令和4年2月4日
場所：(一財)ダム技術センター AB会議室（対面・WEB併用開催）
議題：技術開発賞の授賞者選考

- 令和3年度 選考委員会
開催日：令和4年2月24日
場所：(一財)ダム技術センター AB会議室（対面・WEB併用開催）
議題：技術賞の授賞者選考
功績賞、技術功績賞、論文賞、著作賞の各候補者選考

- 令和3年度 表彰委員会
開催日：令和4年3月8日
場所：(一財)ダム技術センター AB会議室（対面・WEB併用開催）
議題：優秀発表賞、技術賞、技術開発賞の授賞者選考経過報告
功績賞、技術功績賞、論文賞、著作賞の授賞者選考

2. 行事活動

(1) 研究発表会（学術講演会及び講習会と合同開催）

○ 令和3年度 研究発表会（WEB開催）
開催日：令和3年11月18日 10:00～13:35
場所：東京カルチャーカルチャー（渋谷区）
聴講者数：最大103名アクセス
発表論文数：4編
優秀発表賞：（優秀発表賞選考委員会での選考）
一般財団法人日本気象協会 社会・防災事業部
技術 木谷 和大 氏
『効率的なダム運用を目的とした
15日間アンサンブル降雨予測の活用可能性検討』



ダム工学会 小長井会長による開会挨拶



日本気象協会 木谷氏による発表



優秀発表賞選考委員会 乗京委員長による
優秀発表賞の発表、閉会挨拶

(2) 学術講演会（研究発表会及び講習会と合同開催）

- 第31回 特別講演会（WEB開催）
開催日：令和3年11月18日 13:40～14:30
場所：東京カルチャーカルチャー（渋谷区）
聴講者数：最大103名アクセス
講演：京都大学 防災研究所 水資源環境研究センター
教授 角 哲也 氏
『大規模洪水に対するダム工学会の貢献
(ダム大規模洪水対応WG)』



京都大学防災研究所 角教授による講演

(3) 講習会（研究発表会及び学術講演会と合同開催）

○ 令和3年度 講習会（WEB開催）

開催日：令和3年11月18日 14:40～16:10

場所：東京カルチャーカルチャー（渋谷区）

聴講者数：最大103名アクセス

講演：国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課

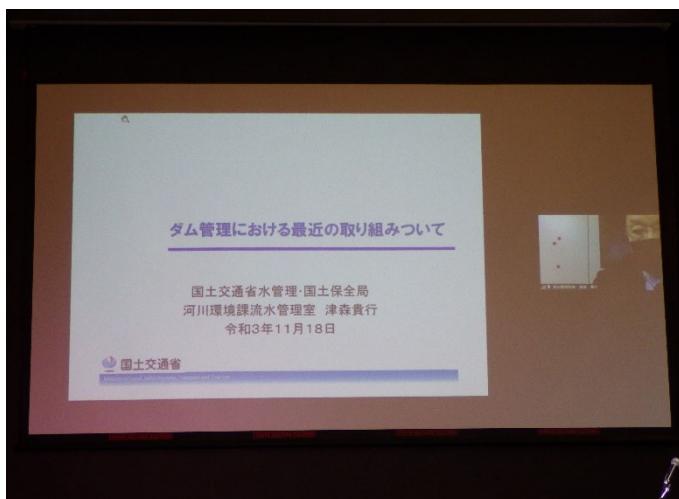
　　流水管理室長 津森 貴行 氏

　　『ダム管理における最近の取り組みについて』

一般財団法人ダム技術センター 研究第一部

　　部長 川崎 秀明 氏

　　『「ダム用PSアンカー設計施工マニュアル」の骨子』



国土交通省 津森流水管理室長による講演



ダム技術センター 川崎部長による講演



優秀発表賞選考委員会 乗京委員長による閉会挨拶

（4）現地見学会

新型コロナウィルス感染症拡大防止のため、中止した。

（5）活性化関連活動

- 令和3年度 北海道地区現場見学会（北海道土木技術会との共催）
- 令和3年度 東北地区現場研修会
- with Dam★Night 中国四国
- with Dam★Night in Kyusyu

新型コロナウィルス感染症拡大防止のため、以上中止した。

○ ダムなんでも相談室

開催日： 令和3年8月6日～8月31日

開催形式： HP掲載（水の日・水の週間HP）

概要：ダムの役割と水の循環、再生可能なクリーンエネルギーや災害の心構えについて、写真や画像を利用して子どもたちを対象にスライドショー・クイズを作成し、掲載した。

参加者数： 4,798名（水の日・水の週間 HP全体アクセス数）

HP掲載（水の日・水の週間）

○ 第8回 ダムを知るための若手技術者勉強会
 開催日：令和4年1月11日
 場所：(一財)ダム技術センター AB会議室 (WEB開催)
 概要：ダム建設に関わる最新技術の紹介を通して、ダムの設計・施工についてのオンライン講演を行った。
 参加者数：98名 (学生12名)

第8回 ダム工学会 若手の会 ダムを知るための若手技術者勉強会開催のお知らせ

～ダム建設最前線！Dam × Digital～

ダム工学会 若手の会では、土木工学を学ぶ学生の皆様に、ダムの魅力を知っていただくため、毎年勉強会を開催しています。

例年では、実際にダムの現場に行き、見学を通してダムの知識を深めて頂いておりますが、昨年に引き続き、今年も新型コロナウィルスの流行により、現場見学に出向く事は叶いませんでした。

しかしながら、悪い事ばかりではありません！

今回のオンライン勉強会では、「ダム建設最前線！～Dam×Digital～」と題し、建設現場の皆様のご協力のもと、3つの建設現場をご紹介いたします。

ダム建設に関わる最新技術を通して、設計・施工の両面での知見を深めていただきます。

オンラインではありますが、リアルな建設現場を目にし、建設に携わっておられる方とお話し出来る、またとない機会です。

ダム初心者でも大丈夫。冒頭の「ダムの基礎知識講座」で、入門編をしっかりと解説致します。

ドラえもんの「どこでもドア」のように、全国どこからでもオンラインでひとつび！一緒に、ダム建設の現場を訪れてみませんか？

皆様のご参加を、事務局一同心よりお待ちしております！

ダム工学会は「技術現場からの研究課題の発掘と研究成果の社会への速やかな還元」を活動の目標としてさまざまな活動を行っています。本見学会はこの一環であり、土木工学を学ぶ学生や若手のダム技術者を対象としております。

【若手技術者のためのダム勉強会の趣旨】

- ❖ ダム見学・講演を通して、ダム事業の目的や効果、ダムの構造や施工、管理の方法など、様々な視点からダムについて学ぶ場を提供します。
- ❖ ダム見学やダム事業に関わる先輩技術者との対話をとおしてダムに関わる仕事の魅力を紹介します。
- ❖ 学・官・民の若手技術者の連携・交流を深める場を提供し、ダム工学に関わる技術者の活性化を促します。

◆勉強会開催要項

- ①開催日：令和4年1月11日（火）
- ②開催方法：Zoomによるオンライン配信
- ③参加費：無料
- ④募集人数：100名（ダム工学会会員以外の方も参加可能です。）
- ⑤申込期限：令和4年1月6日（木）
- ⑥申込方法：下記のダム工学会 若手の会参加申込URLより
 参加申込フォームに必要事項をご入力し、お申込み下さい。
<https://ssl.form-mailer.jp/fms/a2818e83684662>
 ※申込み後、メールにてご案内をさせて頂きます。
- ⑦日程（案）：プログラムをご確認下さい。
- ⑧質問方法：当日の質問はZoomのチャット機能にて受け付けます。
- ⑨その他：勉強会後、アンケートにご回答いただいた方には、ダム工学会若手の会製作のオリジナルカレンダー（卓上）をご用意しています。ご希望される方には郵送をお伺いしますが、住所・氏名等の情報は発送以外の目的には使用致しません。



パンフレット

プログラム

13:00～13:10	開会の挨拶
東京大学 未来ビジョン研究センター 特任教授 川崎 昭如	
ドア1. ダムを知ろう	
13:10～13:30	「ダムの基礎知識講座」 株式会社ニュージェック 水エググループ 新家 拓史
13:30～13:35	質疑・応答
ドア2. 南摩ダム	
13:35～13:50	「思川開発事業の概要」 (独)水資源機構 思川開発建設所 調査設計課 課長 大谷 知樹
13:50～14:15	「南摩ダム本体建設工事の状況」 (独)水資源機構 思川開発建設所 ダム工事課 課長 竹内 祐治
14:15～14:35	「思川開発導水路建設工事、送水路建設工事の状況」 (独)水資源機構 思川開発建設所 導水工事課 課長 梶谷 隆志
14:35～14:45	質疑・応答
14:45～15:00	休憩
ドア3. 成瀬ダム	
15:00～15:20	「成瀬ダムの事業概要」 国土交通省 東北地方整備局 成瀬ダム工事事務所 副所長 小山内 慶
15:20～16:00	「成瀬ダムにおける自動化施工の取組みについて」 成瀬ダムJV工事事務所 (鹿島・前田・竹中土木JV) 統括副所長 神戸 隆幸
16:00～16:20	「画像粒度解析技術を用いたCSG材の粒度管理システムについて」 前田建設工業株式会社 土木事業本部 長友 韶
16:20～16:30	質疑・応答
ドア4. 川上ダム	
16:30～17:00	「川上ダム建設事業の概要と今」 (独)水資源機構 川上ダム建設所 所長 津久井 正明
17:00～17:30	「デジタルを用いた現場の変革」 川上ダムJV工事事務所 (大林・佐藤・日本国土JV) 監理技術者 小俣 光弘
17:30～17:45	質疑・応答
17:45～18:00	閉会の挨拶

東京大学 未来ビジョン研究センター 特任教授 川崎 昭如

司会進行：一般財団法人日本ダム協会 中野 朱美

お問合せ先

TEL : 03-5815-4161

FAX : 03-5815-4162

E-Mail : damko_wakate@jdec.or.jp

一般財団法人ダム技術センター内

ダム工学会若手の会事務局 安藤、速水、田中

※内容に一部変更が生じる場合がございます。

プログラム



配信状況(1)



配信状況(2)

○ with Dam☆Night 「2021：ダムオデッセイ」

開催日：令和3年7月9日

場所：(一財)ダム技術センター AB会議室 (WEB開催)

参加者数：156名

wDN プログラム

司会：夜雀

18:00	開会挨拶	ダム工学会 会長 小長井 一男
	オープニング映像「ダムの夜明け」	製作：尾山 玲 (ドーコン)
18:20	第Ⅰ部「時空を超えてよみがえるダムの旅」	
	夜話1 「“どこでもダムで考える”ダム開発・再開発」	ダムマイスター 高根たかね@ダム日和
	夜話2 「大正期までに竣工したダムの再開発」	ダムマイスター 夜雀
19:05	第Ⅱ部「ダム再生の熱堤夜話」	
	夜話3 「ダム用PSアンカーなどのダム再開発（千本ダムと川俣ダム）」	柱 征宏 (大林組)
	夜話4 「ダム再開発と鹿島建設（新桂沢ダムと鶴田ダム）」	福井 直之 (鹿島建設)
	夜話5 「鹿野川ダムと千五沢ダムの再開発工事」	長谷川 悅央 (清水建設)
	夜話6 「大成建設が誇るダム再開発（五十里ダムと天ヶ瀬ダム）」	土肥 聰 (大成建設)
20:45	総括	
	夜話7 「世界のダム再開発、夢のツアー」と総括	川崎 秀明 (ダム技術センター)
	締め「ダムラブ♥」	



配信状況(1)



配信状況(2)



恒例のダム夜話、開始11年を経てのWeb空間での再出航

with Dam☆Night 「2021:ダムオデッセイ」

ダム工学会

一般公開WEB

シンポジウム

(参加無料)

<web講演方式> 歴史と場所を現在に映し出しながら、

時空を駆けめぐるダム浪漫叙事詩の3時間、2021年ダムの旅



進撃の巨人で有名な大山ダムの大日輪形成の瞬間、提供：古里栄一

常時洪水吐きからの流水のモノリスに光が差し込み大きな束となり、ダムの旅が始まります。

日時：2021年7月9日(金) 17:20 開場、18:00 開会

発信場所：Studio_AB@ダム技術センター

申込方法： 申し込みは事前登録制になります。下記の申込フォームからお申し込み下さい。

<https://ssl.form-mailer.jp/fms/8d1a2d35705632> 申込期間：6/9（水）～7/7（水）

お問合せ：ダム工学会 with Dam Night事務局【（一財）ダム技術センター内】
E-mail アドレス：dam_eng@jdec.or.jp TEL 03-5815-4161（担当：高野、片岡）

主催/ダム工学会 後援/日本ダム協会、建設コンサルタント協会、ダム工事総括管理技術者会

パンフレット（表面）

■ *with Dam☆Night* は、シンポジウムを通じてダムの魅力を発見・発信する一夜だけのダム工学会主催イベントです。出演者は、ダム第一線のプロ、著名ダム愛好家の面々です。

■ 今回は、Web講演方式を採用し、ダムファンの市民、ダム愛好家、そしてダムプロフェッショナルがWeb空間上に会し、ダムの魅力をともに語り合う楽しいタバになるようにしています。

■ 初めての今回は試行的な面もありますが、少しでも多くの方のご参加をお待ちしております。

プログラム

with Dam One Night Show 「2021:ダムオーナイト」

開場 17:20～ 名作「ダム・どこでもドア」の共有画面での上映

1. 開会の挨拶 ダム工学会会長 (小長井一男) 18:00

オープニング映像「ダムの夜明け」 (製作: 尾山玲)

司会: 共同 MC (たかね高根@ダム日和、夜雀、川崎秀明 (監督))

2. 第Ⅰ部「時空を超えてよみがえるダムの旅」 18:20～19:20

「“どこでもダムで考える”ダム開発・再開発」・・・高根たかね (ダム日和)

「大正期までに竣工したダムの再開発」.....夜雀

「行こう、ダム再生の世界ツアーア」.....川崎秀明

休憩タイム (約 10 分)

3. 第Ⅱ部「ダム再生の熱堤夜話」 19:30 ～20:55

ゼネコン4社のエース級エンジニアから、各社の誇るダム再生技術についての説明が行われ、その後、ダム愛好家を含むネット参加者との意見交換が行われます。ダム工事のプロとダム愛好家との熱くスリリングなやり取りが楽しみです。

登場が予想されるダム: 新桂沢、千五沢、五十里、川俣、天ヶ瀬、千本、鹿野川、鶴田、・・・等いろいろ

4. 閉会 21:00

最後は参加全員の両手のハートマークと「ダム、ラブ」の唱和で終わります。

パンフレット (裏面)

※募集案内時

○ with Dam★Night at HOME+

開催日： 令和3年11月2日

場所： 梅田Lateral (WEB開催)

参加者数： 80名

wDN プログラム

司会：夜雀

19:00 開会挨拶

ダム工学会 副会長 川崎 正彦

19:05 安威川ダム・川上ダムの現場状況その後

大阪府安威川ダム建設事務所 所長 江原 竜二

(独)水資源機構 関西・吉野川支社 副支社長 染谷 健司

19:30 足羽川ダム (流水型ダム) の紹介

近畿地方整備局 足羽川ダム工事事務所 所長 櫻井 寿之

19:55 矢作ダム 50 年のあゆみ

中部地方整備局 矢作ダム管理所 所長 水野 徹

20:20 天ヶ瀬ダム再開発事業の紹介

近畿地方整備局 琵琶湖河川事務所 事業対策官 唐松 雅司

20:55 閉会挨拶

京都大学 防災研究所 水資源環境研究センター 教授 角 哲也



配信状況(1)



配信状況(2)

With Dam ★ Night at HOME+



2021.11.2(火)

19:00 ≫ 21:00

参加費 無料

●With Dam ★ Nightとは

ダムとは、洪水対策や利水補給のための重要な社会インフラであり、多くの方々の協力の結晶として造られるものです。この意義を将来世代に引き継ぐため、ダムを愛する方々が交流する一夜だけのイベント、それがWith Dam ★ Nightです。

今年も昨年に引き続き3密を避けたリモート開催となります。魅力あふれる盛り沢山のダム情報を配信予定です！チャットでツッこんだり応援したり質問したりもできます！

ダムファン、ダム初心者のみなさん、自宅でお酒やおつまみ、美味しい物を楽しみながら、ダムの世界をご堪能ください！

一般財団法人 ダム技術センター内 ダム工学会

“With Dam ★ Night” 中部・近畿ブロック事務局

担当：木下 TEL : 06-6206-5701 E-MAIL : y-kinost@ctie.co.jp
担当：赤松 TEL : 06-6374-4379 E-MAIL : akamatsuts@newjec.co.jp

主催：一般社団法人 ダム工学会

後援：一般財団法人 日本ダム協会／ダム工事総括管理技術者会／一般社団法人 建設コンサルタント協会／近畿支部／国土交通省 近畿地方整備局

国土交通省中部地方整備局／大阪府／独立行政法人 水資源機構 関西・吉野川支社

協力：大林組・前田建設工業・奥村組・日本国土開発特定建設工事共同企業体(安威川ダム) / 大林・佐藤・日本国土特定建設工事共同企業体(川上ダム)

●With Dam ★ Night プログラム

19:00	開会 挨拶：川崎 正彦 (ダム工学会 副会長)
19:05	19:05～19:30 安威川ダム・川上ダムの現場状況その後 江原 竜二(大阪府安威川ダム建設事務所 所長) 染谷 健司((独)水資源機構 関西・吉野川支社 副支社長) コメント：19:25～19:30
	19:30～19:55 足羽川ダム(流水型ダム)の紹介 櫻井 寿之(近畿地方整備局 足羽川ダム工事事務所 所長) コメント：19:50～19:55
	19:55～20:20 矢作ダム50年のあゆみ 水野 徹(中部地方整備局 矢作ダム管理所 所長) コメント：20:15～20:20
	20:20～20:55 天ヶ瀬ダム再開発事業の紹介 唐松 雅司(近畿地方整備局 芦田湖河川事務所 事業対策官) コメント：20:50～20:55
20:55	閉会 挨拶：角 哲也 (京都大学防災研究所 教授)

司会者：夜空 (ダムマイスター(一般) 01-003)

コメントイーター：角 哲也 (京都大学防災研究所 教授)

櫻井 寿之(近畿地方整備局 足羽川ダム工事事務所 所長)

伊藤 吾智(近畿地方整備局 足羽川ダム工事事務所 副所長)

唐松 雅司(近畿地方整備局 芦田湖河川事務所 事業対策官)

水野 徹(中部地方整備局 矢作ダム管理所 所長)

江原 竜二(大阪府安威川ダム建設事務所 所長)

染谷 健司((独)水資源機構 関西・吉野川支社 副支社長)

萩原 雅紀(インフラ紹介系YouTuber)

※敬称略 ※プログラムは予告なく変更する場合があります。

●視聴方法

下記URLあるいはQRコードより視聴ください。

https://www.youtube.com/watch?v=MjEJDRUQ_KA



配信視聴締切：2021年11月14日

11/14(日)まで何回でも視聴できます！

パンフレット

○ with Dam★Night in 仙台 2021

開催日： 令和3年11月11日

場所： 東北大学 工学研究科人間・環境系教育研究棟 309
(WEB開催)

参加者数： 129名

wDN プログラム	
	司会：加納 実(ダム工学会東北地区 実行委員)
18:00	開会挨拶 ダム工学会 会長 小長井 一男
18:05	夜嘶 1：「成瀬ダムにおける最新自動化施工技術」 成瀬ダム堤体打設 JV 工事事務所 所長 奈須野 恭伸
18:35	夜嘶 2：「江戸の町を支えたダムを探る」 鹿島建設(株) 建築設計本部 東京スリバチ学会 会長 皆川 典久
19:05	休憩
19:15	夜嘶 3：「田瀬ダムの機械遺産登録の取組」 東北地方整備局 北上川ダム統合管理事務所 副所長 斎藤 清見
19:45	夜嘶 4：「多様化するダムの楽しみ方」 ダム愛好家/((一財)日本ダム協会 ダムマイスター) 炭素
20:15	夜嘶 5：「ダムファンのアイディアでまちを元気に」 東北地方整備局 北上川下流河川事務所 建設専門官 山内 純一
20:50	閉会挨拶

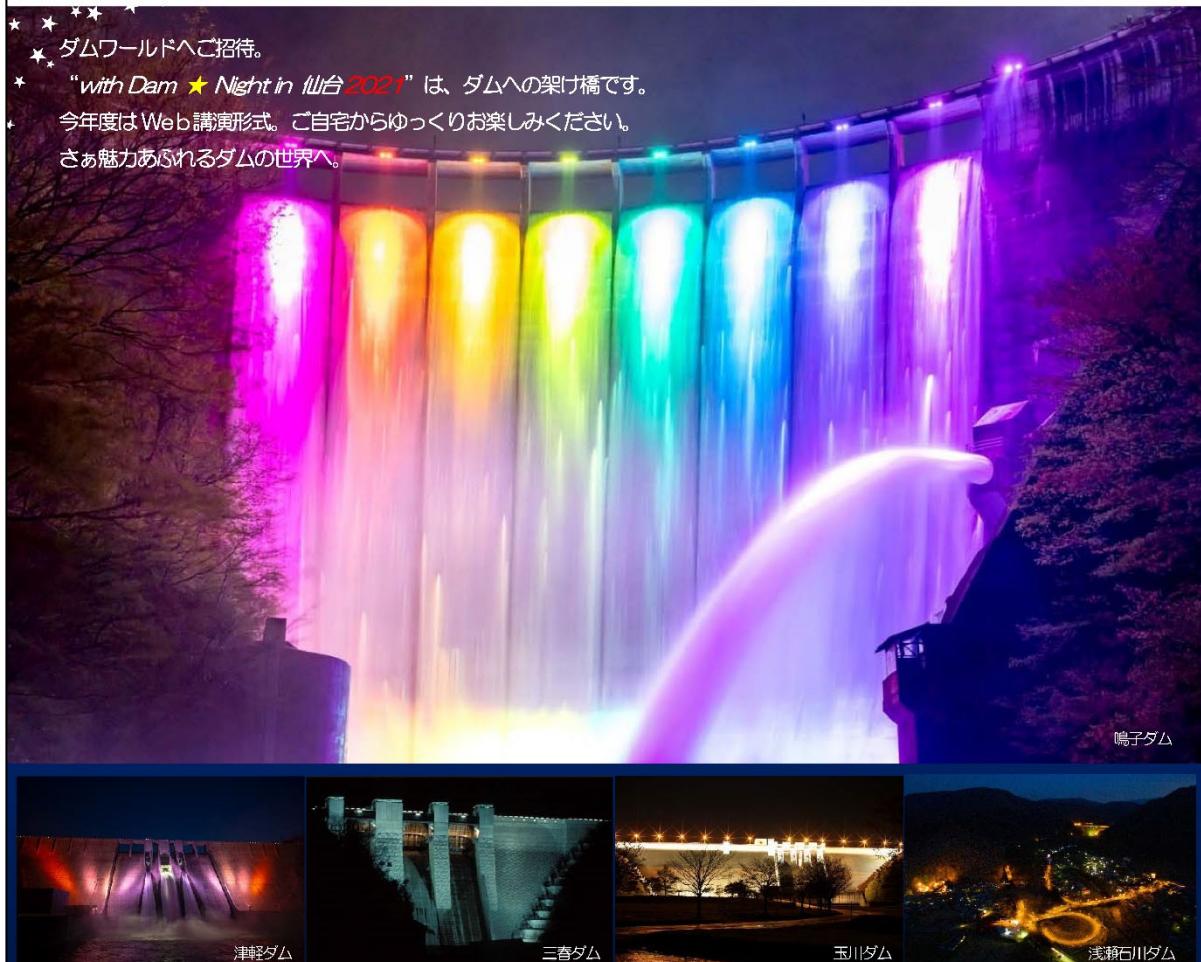


配信状況(1)



配信状況(2)

with Dam★Night in 仙台 2021



とき

2021年11月11日(木) 18:00~21:00(開場/17:30)

ところ

Web 講演形式
東北大学工学研究科 人間・環境系教育研究棟 309スタジオから発信
入場無料/120名程度

お問い合わせ

with Dam★Night in 仙台 2021 事務局 担当: 権神侑貴
TEL: 022-216-5752
E-mail: wdn-sendai2021@yachiyo-eng.co.jp

主催:(一般社団法人)ダム工学会
共催:(公益社団法人)土木学会岩盤力学委員会(土木学会CPD認定プログラム 2.7単位)
後援:(一般財団法人)日本ダム協会



パンフレット(表面)

- "with Dam Night in 仙台 2021" は、シンポジウムを通じてダムの魅力を発見・発信する
一夜だけのイベントです。
- アフターファイブ、市民とダムファン、そしてダムプロフェッショナルが一同に会し、軽食やドリンクを片手に、
ダムの魅力をともに語り合う楽しいタバです。今年度はご自宅で楽しめるよう、[Web 講演形式](#)です。
- 出演者は、ダムの第一線で活躍されている皆様や、ダムファンの最高峰の方々が講演します。

プログラム

※敬称略

	司会：加納 実(ダム工学会東北地区 実行委員)	
開 場		17:30
開会挨拶	小長井 一男 (ダム工学会 会長)	18:00
夜漸1：「成瀬ダムにおける最新自動化施工技術」	奈須野 恒伸 (鹿島・前田・竹中土木特定建設工事共同企業体 成瀬ダム堤体打設JV 工事事務所 所長)	18:05
夜漸2：「江戸の町を支えたダムを探る」	皆川 典久 (鹿島建設(株) 建築設計本部 東京スリバチ学会会長)	18:35
休 憩		19:05
夜漸3：「田瀬ダムの機械遺産登録の取組」	齋藤 清見 (東北地方整備局 北上川ダム統合管理事務所 副所長)	19:15
夜漸4：「多様化するダムの楽しみ方」	炭素 (ダム愛好家/ (一財) 日本ダム協会 ダムマイスター)	19:45
夜漸5：「ダムファンのアイディアでまちを元気に」	山内 純一 (東北地方整備局 北上川下流河川事務所 建設専門官)	20:15
閉 会		20:50

※講演タイトルは当日変更になる可能性があります。

参加申込詳細

申込み先：ダム工学会 事務局

申込み方法：以下、申し込みフォームに必要事項を入力の上、申し込みください。

<https://ssl.form-mailer.jp/fms/4b25b99f720346>

*上記にご記入いただいた個人情報は、お申し込みのイベントに関連した連絡のみ使用いたします。

*また、中止、延期の場合は(一社)ダム工学会のホームページ(<http://www.jsde.jp>)でお知らせいたします。

定員：120名程度

参加費：無料

申込み締切：2021年11月8日(月)

問合せ先：八千代エンジニアリング(株) 北日本支店

with Dam ☆ Night in 仙台 事務局 担当：権神 侑貴

TEL: 022-216-5752 E-mail: wdn-sendai2021@yachiyo-eng.co.jp

パンフレット（裏面）

○ 九州地区WEB配信による現場見学会および講演会
 開催日：令和3年12月16日
 開催形式：WEB開催
 参加者数：52名

プログラム	
17:30	開会挨拶
17:35	立野ダム工事現場概要（動画視聴）
17:50	リモート現地見学会（動画視聴）・質疑応答 立野ダム JV工事事務所 所長 中井 利幸 ダム工学会九州地区連絡会 幹事 八千代エンジニアリング(株)
18:10	講演「気候変動・流域治水・ダムによる適応」 九州大学大学院 工学研究院 環境社会部門 教授 矢野 真一郎
18:55	閉会挨拶 ダム工学会九州地区連絡会 会長 矢野 真一郎



配信状況(1)



配信状況(2)

ダム工学会主催 WEB配信による現場見学会 および講演会のお知らせ

深秋の候、皆々様におかれましては、益々ご繁栄のこととお慶び申し上げます。

さて、ダム工学会九州地区連絡会では、今回で16回目となる現場見学会を、西松・安藤ハザマ・青木あすなろ特定建設工事共同企業体のご協力を得て、立野ダムの施工現場を撮影した最新の動画配信にて開催する運びとなりましたのでお知らせいたします。

立野ダムは、白川沿川の洪水被害を防ぐことを目的とした流水型ダムで、現在、本体基礎掘削工事が進み、堤体コンクリート打設工事の最盛期となっております。

また、最近のダムに関する話題としまして、九州大学大学院の矢野 真一郎教授より、流域治水や気候変動の影響に対するダムの位置付けに関するご講演をライブ配信いただきます。

＜プログラム＞ 令和3年12月16日（木）

17:30～17:35 開会挨拶

17:35～17:50 立野ダム工事現場概要（動画視聴）

17:50～18:10 リモート現地見学会（動画視聴）・質疑応答

西松・安藤ハザマ・青木あすなろ特定建設工事共同企業体

立野ダムJV工事事務所 所長 中井 利幸

ダム工学会九州地区連絡会

幹事 八千代エンジニアリング株式会社

18:10～18:55 講演「流域治水や気候変動の影響に対するダムの位置付け（仮題）」

九州大学大学院 工学研究院 環境社会部門

教授 矢野 真一郎

18:55～19:00 閉会挨拶 ダム工学会九州地区連絡会 会長 矢野 真一郎



参加者の皆様にはWeb会議システム（Zoom）を利用したオンライン方式にて視聴いただきます。つきましては、多くの方々に参加していただきた
くご案内申し上げます。

なお、本見学会・講演会は、土木学会CPDプログラムとして申請中です。

パンフレット

3. 研究活動

(1) 研究部会

調査研究委員会の研究部会は、コンクリートダム、フィルダム、地質・基礎、維持管理、施工、ダム技術史、ダム貯水池課題研究部会の7部門から構成され、各研究部会において研究活動が行われた。

① コンクリートダム研究部会

前年度からの研究テーマ「ダム管理期間としての第IV期設定について」を会誌「ダム工学」へ投稿した。また、新たな研究テーマ候補に関して意見交換、今後の対応等について方針協議を実施した。

○ 第1回 コンクリートダム研究部会

開催日： 令和3年6月17日

会議形式： WEB会議

○ 第2回 コンクリートダム研究部会

開催日： 令和4年2月7日

会議形式： WEB会議

② フィルダム研究部会

「フィルダム再開発（嵩上げ、耐震補強、放流設備増強）の技術的検討」を研究テーマとし、再開発事例の収集整理と分析、再開発にあたっての技術的課題と対応方法について検討を行った。

○ 第1回 フィルダム研究部会

開催日： 令和3年10月15日

会議形式： WEB会議

③ 地質・基礎研究部会

「ダム（堤体、貯水池周辺斜面）の維持管理・再開発における地質調査に関する研究」について、既往文献に基づく事例研究とそのとりまとめを行った。また、新規研究テーマについて検討を行った。

○ 第1回 地質・基礎研究部会

開催日： 令和3年7月7日

会議形式： WEB会議

○ 第2回 地質・基礎研究部会

開催日： 令和3年11月5日

内容： 現地見学（思川開発事業）

○ 第3回 地質・基礎研究部会

開催日： 令和4年1月18日

会議形式： WEB会議

④ 維持管理研究部会

「ダム堆砂の有効活用に関する事例研究」について、部会報告を会誌「ダム工学」へ投稿した。また、「持続可能なダム機能の確保に向けた新技術の活用に関する研究（仮）」を新規研究テーマとし、新技術利用事例等の資料収集に着手した。

○ 第1回 維持管理研究部会

開催日： 令和3年5月26日

会議形式： WEB会議

○ 第2回 維持管理研究部会

開催日： 令和3年8月25日

会議形式： WEB会議

○ 第3回 維持管理研究部会

開催日： 令和3年11月24日

場所： 会員企業会議室（WEB会議）

○ 第4回 維持管理研究部会

開催日： 令和4年2月17日

会議形式： WEB会議

⑤ 施工研究部会

「ダムコンクリート強度試験の合理化」について、近年施工されたさまざまな規模の重力式コンクリートダム本体施工時の品質管理データ、品質管理方法を収集・分析し、強度試験の合理化の可能性について具体的な検討を進めた。

○ 第1回 施工研究部会

開催日： 令和3年4月23日

場所： (一財)ダム技術センター（WEB会議）

○ 第2回 施工研究部会

開催日： 令和3年6月28日

場所： (一財)ダム技術センター（WEB会議）

○ 第3回 施工研究部会

開催日： 令和3年9月22日

場所： (一財)ダム技術センター（WEB会議）

○ 第4回 施工研究部会

開催日： 令和3年11月22日

場所： (一財)ダム技術センター（WEB会議）

○ 第5回 施工研究部会

開催日： 令和4年1月24日

場所： (一財)ダム技術センター（WEB会議）

⑥ ダム技術史研究部会

ダムの調査計画・設計・施工段階における技術的な分岐点となるダム技術史のとりまとめを行うとともに、出版に向けた調整を実施した。

○ 第1回 ダム技術史研究部会

開催日： 令和3年10月22日

会議形式： メール審議

⑦ ダム貯水池課題研究部会

研究部会とその下部組織である大規模洪水対応WGでそれぞれ活動を行い、会誌「ダム工学」への報告原稿、及び「ダム工学会研究発表会・特別講演会・講習会」で使用する講演資料の作成を行った。

【ダム貯水池課題研究部会】

- 第1回 ダム貯水池課題研究部会
開催日：令和3年4月13日
会議形式：WEB会議
- 第2回 ダム貯水池課題研究部会
開催日：令和3年8月17日
会議形式：メール審議
- 第3回 ダム貯水池課題研究部会
開催日：令和3年9月28日
会議形式：WEB会議
- 第4回 ダム貯水池課題研究部会
開催日：令和3年11月19日
会議形式：メール審議

【ダム大規模洪水対応ワーキング】

近年、大規模洪水が頻発する状況を踏まえ、ダムの効果を即時的かつ効果的に情報発信する、並びに事前放流の洪水調節効果をさらに高める方策に関する研究を実施した。

- 第1回 ダム大規模洪水対応ワーキング
開催日：令和3年6月16日
会議形式：WEB会議
- 第2回 ダム大規模洪水対応ワーキング
開催日：令和3年12月15日
会議形式：WEB会議
- 国交省ヒアリング（3回実施）
開催日：令和3年9月29日
令和3年11月10日
令和4年1月28日
会議形式：WEB会議

（2）交流研究事業

「ダムコンクリートの温度ひび割れに関する研究」、「コンクリートダム躯体の健全度評価のための非破壊試験に関する研究」、「ダム下流への土砂供給によって形成される河床地形の物理－生態環境評価手法に関する研究」について継続した。

① ダムコンクリートの温度ひび割れに関する研究

研究者 法政大学デザイン工学部都市環境デザイン工学科

溝渕 利明教授

研究フィールド 全国各地域から最近完成した 37 ダムを選定

② コンクリートダム躯体の健全度評価のための非破壊検査に関する研究

研究者 首都大学東京 都市環境科学研究所

大野 健太郎准教授

研究フィールド 国土交通省関東地方整備局 湯西川ダム等

③ ダム下流への土砂供給によって形成される河床地形の物理－生態環境評価手法に関する研究

研究者 京都大学防災研究所 水資源環境研究センター

竹門 康弘准教授

研究フィールド 国土交通省中部地方整備局 小渋ダム等

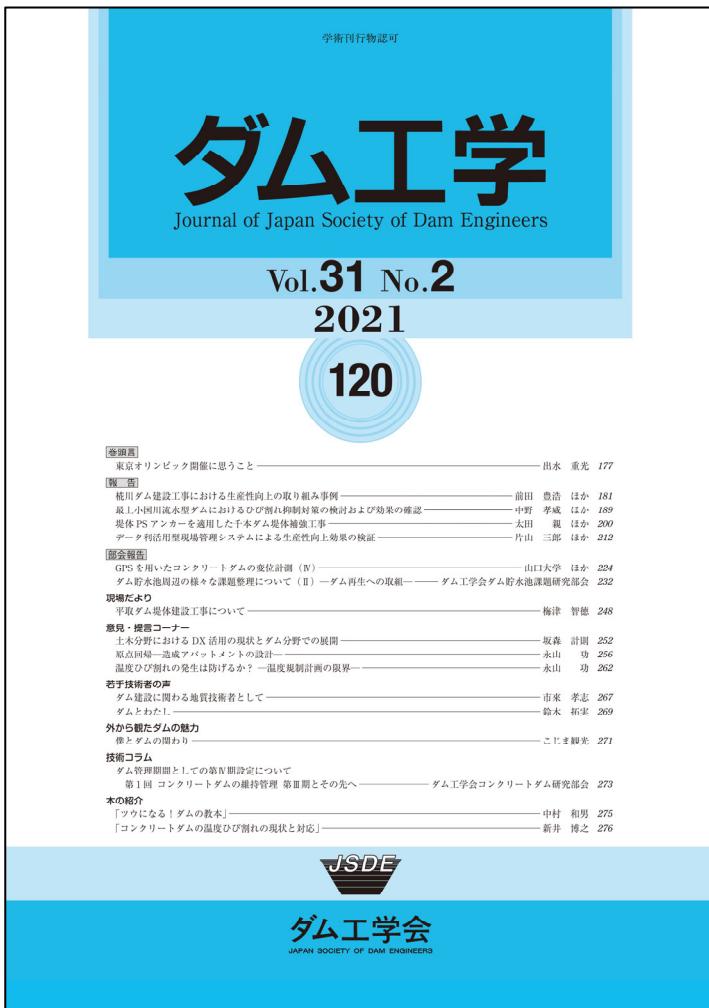
4. 出版活動

○学会誌「ダム工学」

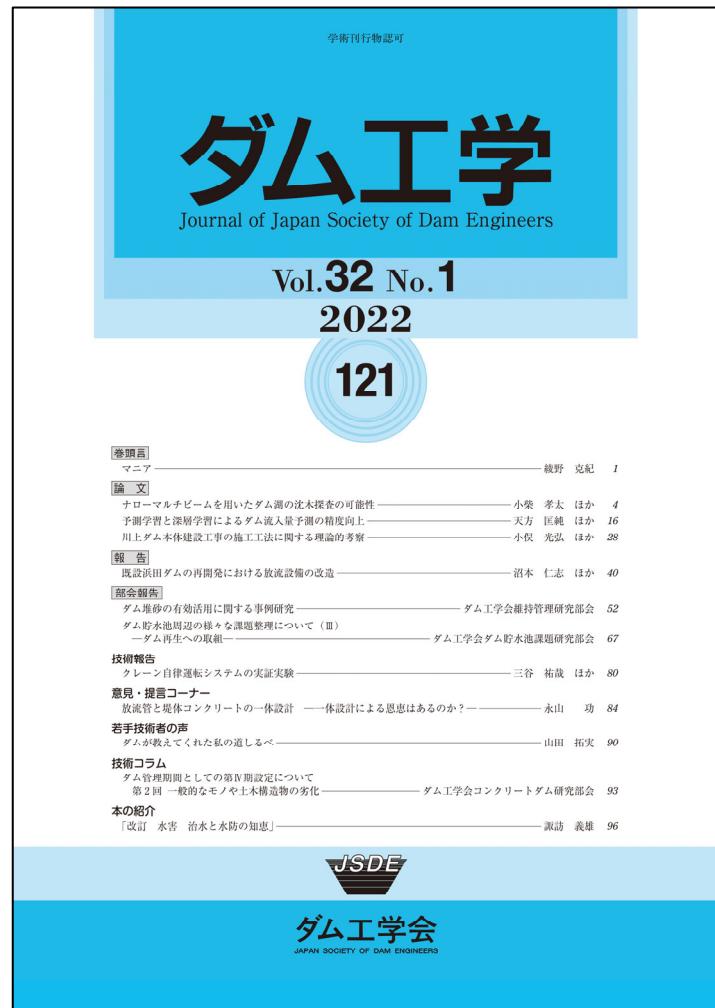
令和3年度は、2回の会誌発行を行った。また、“若手技術者の声”や“外から観たダムの魅力”コーナーの内容を充実させ、若者をはじめ多くの方々がダムへの関心を高める取り組みを行った。

VOL.31 No.2 令和3年 9月15日発行
報 告：4件
部会報告：2件

VOL.32 No.1 令和4年 3月15日発行
論 文：3件
報 告：1件
部会報告：2件



VOL. 31 No.2 令和3年 9月15日発行



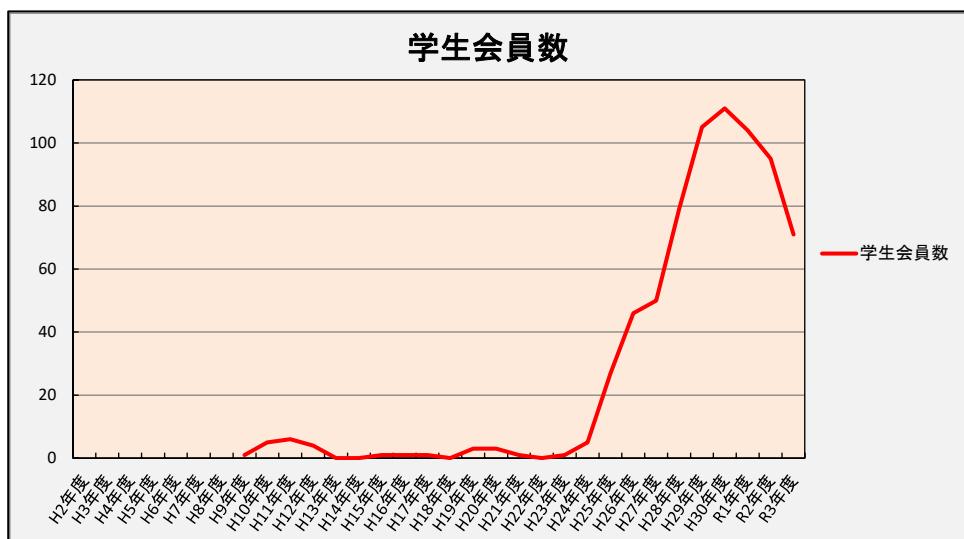
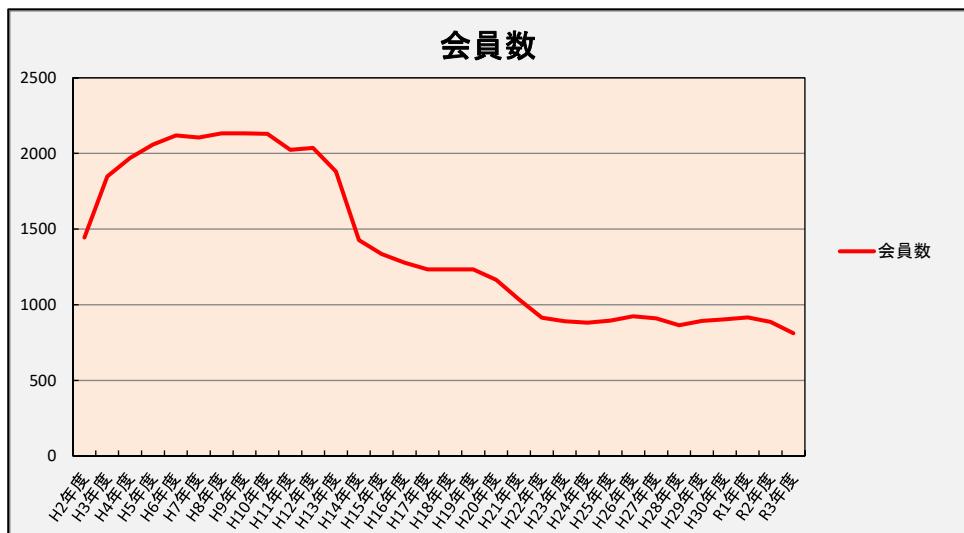
VOL. 32 No.1 令和4年 3月15日発行

5. 会員入会状況

(1) 会員数等の推移

※会員数は年度末現在の値

会員種別	令和2年度	令和3年度	備考
正会員	693名	638名	55名減
シニア会員	99名	103名	4名増
学生会員	95名	71名	24名減
合計	887名	812名	75名減
賛助会員	51社	51社	—



(2) 会員獲得等の主な取り組み

- ・若手の会で「第8回ダムを知るための若手技術者勉強会」を開催し、参加した学生に入会を呼びかけた。
- ・学生会員を対象に通常総会案内を通じて正会員への移行を呼びかけた。
(新型コロナウィルス感染症拡大防止の観点より、十分な入会の呼びかけが困難な状況。)

令和3年度 収支決算報告

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(単位：円)

収入の部

科目	予算額	決算額	差異	備考
1. 会費収入 (①～④計)	10,790,000	11,239,065	△ 449,065	
①正会員会費	3,600,000	3,979,065	△ 379,065	662口(手数料￥22,935差引)
②学生会員会費	0	0	0	
③シニア会員会費	190,000	760,000	△ 570,000	3万(20口)+4万(4口)
④賛助会員会費	7,000,000	6,500,000	500,000	130口
2. 事業収入 (①～⑦計)	1,920,000	0	1,920,000	
①総務小委員会収入	0	0	0	総会後の懇親会中止
②研究発表会収入	200,000	0	200,000	WEB開催による減(プログラム代)
③現地見学会収入	1,215,000	0	1,215,000	現地見学会中止
④講習会収入	0	0	0	
⑤表彰関係収入	15,000	0	15,000	
⑥活性化推進収入	490,000	0	490,000	
若手の会	150,000	0	150,000	WEB開催による減(参加費)
ダムなんでも相談室	0	0	0	
北海道ブロック	20,000	0	20,000	現地見学会中止
東北ブロック	20,000	0	20,000	WEB開催による減(参加費)
中部近畿ブロック	150,000	0	150,000	WEB開催による減(参加費)
中国四国ブロック	0	0	0	
九州ブロック	150,000	0	150,000	WDN中止
with Dam Night 2021	0	0	0	
⑦調査研究収入	0	0	0	
コンクリートダム研究部会	0	0	0	
フィルダム研究部会	0	0	0	
交流研究事業	0	0	0	
維持管理研究部会	0	0	0	
施工研究部会	0	0	0	
ダム技術史研究部会	0	0	0	
ダム貯水池課題研究部会	0	0	0	
交流研究事業	0	0	0	
3. 刊行収入 (①～④計)	900,000	1,335,827	△ 435,827	
①会誌一般発行収入	196,000	192,000	4,000	
②会誌広告料	600,000	660,000	△ 60,000	
③抜刷別刷収入	74,000	374,000	△ 300,000	
④その他収入	30,000	109,827	△ 79,827	JAC著作権使用料等分配金
4. 図書出版事業収入	30,000	170,918	△ 140,918	フィルダムの変位計測に関するGPS利用 マニュアル、ダムの科学
5. 雑収入 (①～②計)	1,051,000	25	1,050,975	
①補助金収入	1,050,000	0	1,050,000	現地見学会・WDN中止、ダムなんでも相談室WEB開催による減。
②受取利息	1,000	25	975	
小計 (1～5計)	14,691,000	12,745,835	1,945,165	
6. 前年度繰越金	※1 24,689,198	24,689,198	0	
合計 (小計+6)	39,380,198	① 37,435,033	1,945,165	

※1 前年度繰越額

支出の部

科目	予算額	決算額	差異	備考
1. 事業支出 (①～⑦計)	10,479,000	2,195,984	8,973,136	
①研究発表会支出	955,000	126,660	828,340	研究発表会・特別講演会・講習会同時開催
②現地見学会支出	1,565,000	880	1,564,120	現地見学会中止
③講習会支出	250,000	15,770	234,230	研究発表会・特別講演会・講習会同時開催
④表彰関係支出	1,186,000	813,853	372,147	表彰・選考委員会・公開審査会 経費
⑤広報支出	160,000	98,714	61,286	広報小委員会
⑥活性化推進支出	5,580,000	1,136,697	4,443,303	活性化推進小委員会
若手の会	1,450,000	132,025	1,317,975	WEB開催
ダムなんでも相談室	920,000	101,433	818,567	ダムなんでも相談室WEB開催
北海道ブロック	410,000	550	409,450	現地見学会中止
東北ブロック	450,000	436,393	13,607	WDN WEB開催
中部近畿ブロック	520,000	118,167	401,833	WDN WEB開催経費
中国四国ブロック	300,000	0	300,000	現地見学会中止
九州ブロック	1,280,000	145,275	1,134,725	WDN中止、WEB開催による現地見学会
with Dam Night 2021	250,000	202,854	47,146	WDN WEB開催
⑦調査研究支出	783,000	3,410	779,590	
コンクリートダム研究部会	1,000	770	230	残高証明発行手数料
フィルダム研究部会	0	0	0	
地質・基礎研究部会	30,000	880	29,120	残高証明発行手数料
維持管理研究部会	60,000	0	60,000	
施工研究部会	0	0	0	
ダム技術史研究部会	1,000	880	120	残高証明発行手数料
ダム貯水池課題研究部会	91,000	880	90,120	残高証明発行手数料
交流研究事業	600,000	0	600,000	
2. 刊行支出	2,900,000	3,621,538	△ 721,538	
①会誌作成費	2,900,000	3,621,538	△ 721,538	発送料・抜刷別刷料含む
3. 図書出版事業支出	0	0	0	
4. 事務支出 (①～⑪計)	1,260,000	1,426,391	△ 166,391	
①会場費	400,000	737,000	△ 337,000	総会、研究発表会・特別講演会・講習会 会場費
②会議費	50,000	34,312	15,688	総会、研究発表会・特別講演会・講習会 経費
③印刷製本費	30,000	0	30,000	総会WEB開催による減
④諸謝金	135,000	75,000	60,000	ダム工学 卷頭言・査読料
⑤消耗品費	0	0	0	
⑥通信費	100,000	172,990	△ 72,990	会費請求書送付等
⑦支払手数料	150,000	57,453	92,547	振込手数料等
⑧旅費交通費	0	0	0	
⑨コンサルタント料	200,000	195,000	5,000	会計顧問報酬・登記賃本手続手数料
⑩雑費	150,000	129,519	20,481	ダム日本購読料、日本工学会会費 防災学術連携体会費等
⑪源泉徴収費	45,000	25,117	19,883	ダム工学会からの諸謝金に対する 源泉徴収税
5. 予備費支出	100,000	0	100,000	
小計 (1～5計)	14,739,000	(2) 7,243,913	7,495,087	
6. 繰越金	24,641,198	(3) 30,191,120	△ 5,549,922	
合計 (小計+6)	39,380,198	37,435,033	1,945,165	

注1 R3の決算収支 ￥12,745,835 - ￥7,243,913 = ￥5,501,922

注2 予算額と決算額の主な差異などについて別添参照

予算額と決算額の主な差異などについて（補足説明）

収入の部

1.③シニア会員会費

60歳シニア会員の大幅増による。

3.③抜刷別刷収入

中電技術コンサルタント 220,000円、京都大学防災研究所 154,000円の注文があったため大幅増。

4.図書出版事業収入

「フィルダムの変位計測に関する GPS 利用マニュアル」国際航業より 70 部の注文があったため増。

5.①補助金収入

現地見学会の大ダム会議負担金（50,000円）・
WDN 九州の九州地方計画協会補助金（800,000円）・
ダムなんでも相談室の CMED 会負担金（200,000円）なしのため減。

支出の部

1.①研究発表会支出

研究発表会・特別講演会・講習会の会場費を総務小委員会から支払ったため大幅減。

1.③講習会支出

研究発表会・特別講演会・講習会の会場費を総務小委員会から支払ったため大幅減。

2.刊行支出

ページ数増加にともない支出増。

4.①会場費

研究発表会・特別講演会・講習会の会場費を総務小委員会から支払ったため大幅増。

4.⑥通信費

表彰関係について、表彰状等を受賞者へ郵送したため増。

6.繰越金

37,435,033 ① - 7,243,913 ② = 30,191,120 ③ (令和4年度への繰越額)

令和3年度 会計監査報告

私は、ダム工学会の令和3年度収支決算報告についての監査を行った結果、収支決算報告書は適正であることを認めましたので、ここに報告いたします。

令和4年 4月20日

ダム工学会

監事

氏名 工藤 俊郎 

令和3年度 会計監査報告

私は、ダム工学会の令和3年度収支決算報告についての監査を行った結果、収支決算報告書は適正であることを認めましたので、ここに報告いたします。

令和4年 4月20日

ダム工学会

監事

氏名 佐藤 俊哉 

理 事 選 任 (案)

定款第22条に基づき、令和4年4月26日の第43回評議委員会において、下記の方々が理事に推薦された。

理 事

出水 重光	八千代エンジニアリング株式会社 代表取締役社長
角 哲也	京都大学 防災研究所 水資源環境研究センター 教授
川崎 正彦	一般財団法人ダム技術センター 理事長
乗京 正弘	飛島建設株式会社 代表取締役社長
石井 秀紀	株式会社ニュージェック 顧問
古関 潤一	東京大学 工学系研究科 社会基盤学専攻 教授
村上 章	京都大学 理事・副学長
溝渕 利明	法政大学 デザイン工学部 都市環境デザイン工学科 教授
道奥 康治	法政大学 デザイン工学部 都市環境デザイン工学科 教授
日置 秀彦	独立行政法人水資源機構 副理事長
日野 浩二	独立行政法人水資源機構 理事 ダム事業本部長
[新任] 小平 阜	一般財団法人水源地環境センター 理事
吉田 等	一般財団法人ダム技術センター ダム技術研究所長
多田 隆司	関西電力株式会社 執行役常務
石黒 幸文	中部電力株式会社 執行役員 再生可能エネルギーカンパニー 水力事業部長
[新任] 松本 伸	株式会社大林組 常務執行役員 土木本部 生産技術本部長
[新任] 黒木 博	大成建設株式会社 土木技術部 ダム技術室長
高田 悅久	鹿島建設株式会社 専務執行役員 土木管理本部 副本部長
藤田 司	株式会社安藤・間 建設本部 土木技術統括部 副統括部長
石田 裕哉	株式会社建設技術研究所 顧問 ガバナンス統括本部 監査室 室長
植本 実	日本工営株式会社 流域水管理事業本部 技師長
鎌屋 明	日立造船株式会社 執行役員 機械・インフラ事業本部 副事業本部長
林 俊克	株式会社 I H I インフラシステム 監査役
[退任] 小長井 一男	特定非営利活動法人 国際斜面災害研究機構 学術代表
[退任] 安田 吾郎	株式会社 I H I インフラシステム 顧問
[退任] 佐藤 健人	株式会社大林組 代表取締役 副社長執行役員
[退任] 白川 賢志	大成建設株式会社 常務執行役員 土木本部副本部長兼土木部長

監 事 選 任 (案)

定款第22条に基づき、令和4年4月26日の第43回評議委員会において、下記の方々が監事に推薦された。

監 事

[新任] 光成 政和 一般財団法人日本ダム協会 専務理事

[新任] 毛利 哲明 電源開発株式会社 執行役員 土木建築部長

[退任] 工藤 啓 鉄建建設株式会社 土木本部 常務執行役員

[退任] 佐藤 俊哉 株式会社J-POWERハイテック 常務執行役員

令和4年度 事業計画

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

令和3年度に引き続き、ダム工学研究の向上発展を図ることを目的とし、以下の事業を実施する。また、事業実施にあたっては、WEB会議システムの活用を十分に図ると共に、新型コロナウィルス感染症の状況により、必要な見直しを行う。

1. 委員会等活動

- 1) 通常総会
- 2) 理事会
- 3) 評議委員会
- 4) 委員会
 - ・企画運営委員会
 - ・編集委員会
 - ・調査研究委員会
 - ・災害調査委員会
 - ・表彰委員会
 - ・選考委員会
 - ・優秀発表賞選考委員会

の各委員会を開催する。

2. 行事活動

- 1) 特別講演会
- 2) 研究発表会
- 3) 現地見学会
- 4) 講習会
- 5) ダム工学会賞 表彰式
- 6) 活性化関連活動
 - ・地域活動
 - ・若手の会
 - ・ダムなんでも相談室
 - ・“with Dam★Night” 東京、東北、中部・近畿、中国・四国、九州で開催。

1回
1回
1回
1回
1回
1回
1回
1) 、 2) 、 4) 、 5) 合同開催

3. 出版・広報活動

1) 学会誌「ダム工学」

VOL.32 No.2 2022年 9月 発行予定 (2022年 9月15日号)

VOL.33 No.1 2023年 3月 発行予定 (2023年 3月15日号)

2) ダム工学会ホームページの運用、メルマガ通信の配信

ダム工学会ホームページやメルマガ通信を活用し、ダムに関する見学会等のイベント情報をはじめ、ダムの役割などの知識の提供を行う。

3) 戰略的・効果的な広報の実施

特別講演会、研究発表会、講演会及び活性化関連活動を通じてダムに関する戦略的・効果的な広報を実施する。また、短時間の動画で構成されるビデオ講座「防災学術連携体 防災科学の基礎講座（令和4年8月開設予定）」に参加する。

4. 研究活動

1) ~7) の研究部会の活動と共に、交流研究事業に取り組む。

4. 1 研究部会 令和4年度活動内容

1) コンクリートダム研究部会

新規研究テーマに関し、ダム健全性に係る診断技術、ダム維持管理DXに係る現状の技術資料などを収集・整理する。また、研究テーマの分担作業、検討、報文（案）の作成、とりまとめを行う。

2) フィルダム研究部会

新規研究テーマを「フィルダム再開発（嵩上げ、耐震補強、放流設備増強）の技術的検討」とし、再開発事例の収集整理と分析、再開発にあたっての技術的課題と対応方法について検討する。

3) 地質・基礎研究部会

前年度に引き続き、「ダム（堤体、貯水池周辺斜面）の維持管理・再開発における地質調査に関する研究」について討議し、会誌「ダム工学」への報文としてとりまとめる。併せて、新規研究テーマの検討を進める。

4) 維持管理研究部会

「持続可能なダム機能の確保に向けた新技術の活用」を研究テーマとし、事例研究を行う。降雨予測技術や遠隔操作技術のダム操作への利用、ロボット等の堤体点検、貯水池維持管理の利用技術などに関して幅広く、技術開発の現状や利用例を調査する。先進ダムへの現地見学や意見交換を行う。

5) 施工研究部会

前年度に引き続き、近年施工された個別ダムの品質管理方法、品質管理データをもとに、「ダムコンクリート強度試験の合理化」について、検討を進め、検討成果を会誌「ダム工学」等へ投稿する。

6) ダム技術史研究部会

前年度に引き続き、技術的な分岐点となるダム技術史のとりまとめを行うとともに、出版に向けた調整を実施する。

7) ダム貯水池課題研究部会

研究部会とその下部組織である大規模洪水対応WG、動画作成WGでそれぞれ活動を行い、会誌「ダム工学」への報告原稿、ダム工学会HPへの投稿資料、「ダム工学会研究発表会・特別講演会・講習会」及び「防災学術連携体 防災科学の基礎講座」で使用する資料の作成を行う。

4. 2 交流研究事業

「ダムコンクリートの温度ひび割れに関する研究」、「コンクリートダム躯体の健全度評価のための非破壊試験に関する研究」、「ダム下流への土砂供給によって形成される河床地形の物理－生態環境評価手法に関する研究」の3テーマを継続する。

1) ダムコンクリートの温度ひび割れに関する研究

前年度に引き続き、解析モデル数を増やして解析を行い、温度ひび割れ発生確率曲線の作成を行っていく。

2) コンクリートダム躯体の健全度評価のための非破壊試験に関する研究

非破壊試験方法のうち、衝撃弹性波法および赤外線サーモグラフィ法を用いてコンクリートのひび割れ、水平打継部の一体性評価方法を検討する。

3) ダム下流への土砂供給によって形成される河床地形の物理－生態環境評価手法に関する研究

ダム下流河川における土砂水理学的プロセスを経て形成される早瀬・淵・ワンド等の生息場構造を河川管理指標として、生物多様性と砂州フィルタリングによる水質浄化機能を保全する新たな河川管理概念について応用生態工学会と連携しながら検討する。また、研究成果のとりまとめ・報告書の作成を行う。

令和4年度 収支予算

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(単位：円)

収入の部

科目	予算額	前年度予算額	差異	備考
1. 会費収入 (①～④計)	10,740,000	10,790,000	△ 50,000	
①正会員会費	3,500,000	3,600,000	△ 100,000	R1-R2年度決算額考慮
②学生会員会費	0	0	0	
③シニア会員会費	240,000	190,000	50,000	R1-R2年度決算額考慮
④賛助会員会費	7,000,000	7,000,000	0	R1-R2年度決算額考慮
2. 事業収入 (①～⑦計)	1,905,000	1,920,000	△ 15,000	
①総務小委員会収入	0	0	0	懇親会中止
②研究発表会収入	200,000	200,000	0	学術研究発表会参加費
③現地見学会収入	1,215,000	1,215,000	0	第46回現地見学参加費 (大ダム会議と合同開催) 大ダム会議負担金除く
④講習会収入	0	0	0	
⑤表彰関係収入	0	15,000	△ 15,000	公開審査会未実施
⑥活性化推進収入	490,000	490,000	0	活性化推進小委員会
若手の会	150,000	150,000	0	若手技術者勉強会参加費
ダムなんでも相談室	0	0	0	CMED会補助金除く
北海道ブロック	20,000	20,000	0	ダム見学会参加費
東北ブロック	20,000	20,000	0	ダム見学会参加費
中部近畿ブロック	150,000	150,000	0	with Dam Night会費
中国四国ブロック	0	0	0	
九州ブロック	150,000	150,000	0	with Dam Night会費 ダム見学会参加費
with Dam Night 2022	0	0	0	
⑦調査研究収入	0	0	0	調査研究委員会
コンクリートダム研究部会	0	0	0	
フィルダム研究部会	0	0	0	
地質・基礎研究部会	0	0	0	
維持管理研究部会	0	0	0	
施工研究部会	0	0	0	
ダム技術史研究部会	0	0	0	
ダム貯水池課題研究部会	0	0	0	
交流研究事業	0	0	0	
3. 刊行収入等 (①～④計)	1,000,000	900,000	100,000	
①会誌一般発行収入	196,000	196,000	0	講読会員会費 (2回¥6,000)
②会誌広告料	700,000	600,000	100,000	会誌広告料 (発行回数2回)
③抜刷別刷収入	74,000	74,000	0	会誌の抜刷・カラー印刷
④その他収入	30,000	30,000	0	JST特許料・学術著作権複写
4. 図書出版事業収入	30,000	30,000	0	フィルダムの変位計測に関する GPS利用マニュアル、ダムの科学
5. 雑収入 (①～②計)	1,051,000	1,051,000	0	
①補助金収入	1,050,000	1,050,000	0	大ダム会議負担金(¥50,000) CMED会(¥200,000) 九州地方計画協会(¥800,000)
②受取利息	1,000	1,000	0	銀行利息
小計 (1～5計)	14,726,000	14,691,000	35,000	
6. 前年度繰越金	※ 30,191,120	24,689,198	5,501,922	
合計 (小計+6)	44,917,120	39,380,198	5,536,922	

(単位：円)

支出の部

科目	予算額	前年度予算額	差異	備考
1. 事業支出 (①～⑦計)	9,889,000	10,479,000	△ 590,000	
①研究発表会支出	955,000	955,000	0	学術研究発表会小委員会
②現地見学会支出	1,565,000	1,565,000	0	現地見学小委員会 (大ダム会議と合同開催)
③講習会支出	150,000	250,000	△ 100,000	講習会小委員会
④表彰関係支出	990,000	1,186,000	△ 196,000	表彰・選考委員会
⑤広報支出	110,000	160,000	△ 50,000	広報小委員会(HP管理費)
⑥活性化推進支出	5,244,000	5,580,000	△ 336,000	活性化推進小委員会
若手の会	1,450,000	1,450,000	0	若手技術者勉強会
ダムなんでも相談室	570,000	920,000	△ 350,000	ダムなんでも相談室経費
北海道ブロック	411,000	410,000	1,000	ダム見学会経費
東北ブロック	463,000	450,000	13,000	with Dam Night・ ダム見学会経費
中部近畿ブロック	520,000	520,000	0	with Dam Night 経費
中国四国ブロック	300,000	300,000	0	with Dam Night 経費
九州ブロック	1,280,000	1,280,000	0	with Dam Night・ ダム見学会経費
with Dam Night 2022	250,000	250,000	0	with Dam Night 経費
⑦調査研究支出	875,000	783,000	92,000	調査研究委員会
コンクリートダム研究部会	1,000	1,000	0	部会 経費
フィルダム研究部会	0	0	0	
地質・基礎研究部会	30,000	30,000	0	現地調査等 経費
維持管理研究部会	52,000	60,000	△ 8,000	現地調査等 経費
施工研究部会	0	0	0	
ダム技術史研究部会	1,000	1,000	0	残高証明発行手数料
ダム貯水池課題研究部会	191,000	91,000	100,000	部会 経費 (報告書、動画作成など)
交流研究事業	600,000	600,000	0	交流研究補助金 3 テーマ分
2. 刊行支出	3,300,000	2,900,000	400,000	
①会誌作成費	3,300,000	2,900,000	400,000	発送料・抜刷別刷料含む (会誌発行2回、委員会4回)
3. 図書出版事業支出	250,000	0	250,000	フィルダムの変位計測に関する GPS利用マニュアル増刷 (100部)
4. 事務支出 (①～⑪計)	1,260,000	1,260,000	0	
①会場費	400,000	400,000	0	第32回総会 経費等 (Web活用)
②会議費	50,000	50,000	0	総会後の懇親会中止
③印刷製本費	30,000	30,000	0	第32回総会 (Web活用)
④諸謝金	135,000	135,000	0	ダム工学 卷頭言・査読料
⑤消耗品費	0	0	0	
⑥通信費	100,000	100,000	0	会費請求書 送付等
⑦支払手数料	150,000	150,000	0	WEBバンク・口座振替手数料
⑧旅費交通費	0	0	0	
⑨コンサルタント料	200,000	200,000	0	会計顧問報酬 登記役員変更手続き代行料
⑩雑費	150,000	150,000	0	ダム日本購読料、日本工学会会費 防災学術連携体会費
⑪源泉徴収費	45,000	45,000	0	諸謝金に対する源泉徴収
5. 予備費支出	100,000	100,000	0	
小計 (1～5計)	14,799,000	14,739,000	60,000	
6. 繰越金	—	24,689,198	—	
合計 (小計+6)	—	39,428,198	—	

R4の予算収支 ¥14,726,000 — ¥14,799,000 = -73,000

R3の予算収支 ¥14,691,000 — ¥14,739,000 = -48,000

評議委員の紹介

定款細則第6条に基づき、令和4年4月26日の第43回評議委員会において、下記の方々が評議委員に選出された。

評議委員

石田 哲也	東京大学 工学系研究科 社会基盤学専攻 教授
矢野 真一郎	九州大学 工学研究院 環境社会部門 教授
諫訪 義雄	国立研究開発法人 土木研究所 河道保全研究グループ グループ長
足達 謙二	独立行政法人水資源機構 ダム事業本部 ダム事業部長
[新任] 奥秋 芳一	一般財団法人水源地環境センター 水源地環境技術研究所長
[新任] 高津 治	東京都水道局 建設部 施設設計課 課長
粳田 茂樹	東京電力ホールディングス株式会社 技術戦略ユニット土木・建築統括室 土木・建築エンジニアリングセンター 地盤土木技術グループ マネージャー
梅澤 孝行	関西電力株式会社 再生可能エネルギー事業本部 水力部長
佐藤 正俊	中部電力株式会社 電力技術研究所 土木グループ長
[新任] 西浦 和幸	飛島建設株式会社 企画本部 経営企画部 部長
加瀬 俊久	清水建設株式会社 土木技術本部 上席エンジニア
糠谷 勝彦	三井住友建設株式会社 土木本部 土木統括室 担当部長
桑野 陵一	前田建設工業株式会社 土木事業本部 上級技師長
[新任] 高橋 正人	株式会社熊谷組 土木事業本部 ダム技術部 部長
片岡 大到	佐藤工業株式会社 本社土木事業本部 営業推進部 営業推進第二課長
高橋 努	八千代エンジニヤリング株式会社 代表取締役 専務執行役員
井根 健	株式会社ニュージェック 執行役員 技術本部長代理
鈴木 孝雄	日本工営株式会社 河川水資源事業部 ダム発電部 副技師長
水摩 智嘉	株式会社建設技術研究所 大阪本社 本社次長
立花 猛	株式会社エイト日本技術開発 国土インフラ部 河川・港湾グループ グループマネージャー
首藤 祐司	株式会社IHIインフラシステム 理事・鉄構技術室長
[退任] 高橋 定雄	一般財団法人水源地環境センター 水源地環境技術研究所長
[退任] 浜中 直樹	東京都 水道局 建設部 施設設計課 課長
[退任] 目黒 信晴	飛島建設株式会社 土木事業本部 営業統括部 担当部長
[退任] 高木 秀和	株式会社熊谷組 土木事業本部 ダム技術部 部長

令和3年度 ダム工学会賞受賞者

1. 功績賞

功績賞は、技術賞と同等の業績または論文賞と同等の論文発表等の積み重ねによって、ダム事業の発展やダム工学の進歩に著しい貢献をなしたと認められた個人または団体、あるいはダム工学会の運営に寄与し、学会の声価を高め、その興隆に著しい貢献をなしたと認められた個人または団体に対して授与する。

1) 特別功績賞

ダム工学の進歩及びダム工学会の発展に特に著しい貢献

受賞者	所属
濱口 達男	—

2) 功績賞

ダム工学の進歩及びダム工学会の発展に貢献

受賞者	所属
松尾 直規	中部大学 名誉教授
高須 修二	(一財)ダム技術センター 顧問
高橋 穎一	—
井上 隆	—
上遠野 均	(株)熊谷組 ダム技術部技術部長

2. 技術功績賞

技術功績賞は、ダムの建設・管理等の実務の積み重ねにより、ダム技術の進歩及び発展に著しい貢献をなしたと認められる個人に授与するものとする。

受賞者	所属
加瀬 哲司	豊国工業(株) 技術部
明石 英男	豊国工業(株) 技術部
土井 修	日本基礎技術(株) (東北支店)

3. 技術貢献賞

技術貢献賞は、ダムの建設・管理等の実務において、ダム工学の進歩、発展及びダム技術の普及、継承に著しい貢献をなしたと認められる活動を行った団体に授与するものとする。

受賞者	所属
	(今年度は受賞団体なし)

4. 技術賞

技術賞は、ダムの計画、設計、施工、または維持管理等に関して、ダム技術の発展に著しい貢献をなしたと認められた画期的な事業または業務を実施した個人または団体に対して授与する。

事業名・業務名	受賞者
長安口ダム改造事業 (本体施設改造)	国土交通省四国地方整備局 鹿島建設(株) (株)クレアリア (株)IHI インフラシステム
小石原川ダム建設事業	(独)水資源機構 鹿島・竹中土木・三井住友特定建設工事共同企業体 八千代エンジニヤリング(株) (株)ニュージェック 豊国工業(株)
浜田川総合開発事業 (浜田ダム再開発)	島根県 鹿島・フクダ・祥洋特別共同企業体 (株)ニュージェック、日本工営(株)、中電技術コンサルタント(株)
香東川総合開発事業 梼川ダム本体建設工事	香川県 大成・飛島・村上特定建設工事共同企業体 日本工営(株) (株)フソウ 日東河川工業(株)

5. 論文賞

論文賞は、ダム工学会が刊行する論文集「ダム工学」及び、これと同等の会誌にダム工学に関わる独創的な論文を発表し、ダム工学における学術、技術の発展に著しい貢献をなしたと認められた本会会員である個人または本会会員を含む団体に対して授与する。

	論 文 名	受 賞 者
1	(Ⅱ類 コンクリートダム部門) 地震観測記録および感度解析による重力式ダムクレストゲート部動水圧の発生要因分析	藤田 将司 佐藤 信光 田中 聖三 京藤 敏達
2	(Ⅱ類 フィルダム部門) ロックフィルダムの安全管理を目的とした GPS 変位計測の利用と堤体変形特性の評価	中島 伸一郎 清水 則一 小堀 俊秀 山口 嘉一

6. 技術開発賞

技術開発賞は、ダムの調査、試験、設計、施工または維持管理等において、創意工夫に富む技術を開発実用化し、ダム技術の発展に著しい貢献をなしたと認められた本会会員である個人または本会会員を含む団体に対して授与する。

	技 術 開 発 件 名	受 賞 者
1	コンクリートダム構築の合理化施工システムの開発	鹿島建設(株) 丹 秀男 鹿島建設(株) 岡山 誠 鹿島建設(株) 海瀬 芳治 鹿島建設(株) 奈須野 恭伸
2	ICT を用いたダム原石採取管理システム「T-iBlast DAM」の開発	大成建設(株) 山上 順民 大成建設(株) 新井 博之 大成建設(株) 市来 孝志 大成建設(株) 西 智宏
3	データ利活用型現場管理システム「T-iDigital Field」	大成建設(株) 片山 三郎 大成建設(株) 畠山 峻一 大成建設(株) 太田 兵庫 大成建設(株) 石井 喬之
4	クレーン自律運転システム	(株)大林組 三谷 祐哉 (株)大林組 笹原 大介 (株)大林組 藏元 一成 (株)大林組 小俣 光弘
5	ダム用軽量コンクリートバケットの開発	清水建設(株) 牧野 有洋 清水建設(株) 山下 哲一 清水建設(株) 中野 貴公 清水建設(株) 平塚 育 清水建設(株) 藤内 隆 清水建設(株) 長尾 貴浩

7. 著作賞

著作賞は、ダム工学を体系化し、またはダム工学における新しい分野を集大成し、ダム工学、ダム技術の発展に著しい貢献をなしたと認められた工学的な著作の著者、またはダム工学、ダム技術の意義あるいはダム技術者の活躍を広く世に紹介することに著しい貢献をなしたと認められた一般的な著作の著者に対して授与する。

著作名	受賞者
ダムの役割と操作 ダムの環境保全に関する解説の動画	京都大学防災研究所教授 角 哲也 (一社)ダム工学会事務局 池田 茂 (株)ニュージェック 石井 秀紀 中国温州大学生命環境科学学院 小林 草平 (株)日本インシーク 下鳴 恒彰 (一社)ダム工学会事務局 高野 裕太 日本工営(株) 田方 俊輔 京都大学防災研究所 野原 大督 (一財)日本ダム協会 中野 朱美 (一財)ダム技術センター 長野 航兵 (株)ニュージェック 前田 圭一 日本工営(株) 森 貴信 日本工営(株) 山崎 達夫 (一社)ダム工学会事務局 渡邊 浩平
コンクリートダムの温度ひび割れの現状と対応	(一財)日本ダム協会 施工技術研究会 第2部会
ダムと地震	(一財)日本ダム協会 施工技術研究会 第2部会

令和3年度 ダム工学会技術賞 受賞ダム



長安口ダム



小石原川ダム



浜田ダム



梼川ダム

幅広い分野の会員からなる一般社団法人ダム工学会は、工学の総合的な発展に貢献しています。



事務局 〒110-0008 東京都台東区池之端2-9-7
池之端日殖ビル2F
TEL.03-5815-4161 FAX.03-5815-4162
URL. <http://www.jsde.jp/>